



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 株式会社AOKIホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8214 URL http://www.aoki-hd.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 彰宏
 問合せ先責任者(役職名) 取締役副社長 (氏名) 田村 春生 (TEL) 045-941-1388
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	46,254	△0.1	914	△44.6	862	△47.1	325	△62.6
29年3月期第1四半期	46,314	2.5	1,650	△36.6	1,629	△37.7	870	△52.9

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 418百万円(△29.1%) 29年3月期第1四半期 590百万円(△71.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	3.74	—
29年3月期第1四半期	9.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	234,697	142,016	60.5
29年3月期	234,681	143,906	61.3

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 141,929百万円 29年3月期 143,818百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	21.00	—	22.00	43.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	22.00	—	22.00	44.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	200,550	3.4	14,500	0.4	14,000	0.8	7,600	3.3	87.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	90,649,504株	29年3月期	90,649,504株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	3,678,480株	29年3月期	3,404,290株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	87,121,313株	29年3月期1Q	89,301,220株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善等を背景に緩やかな回復基調が継続いたしました。また、個人消費は底堅く推移しているものの、根強い節約志向等から力強さに欠ける状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは各事業において下記のような諸施策を実施した結果、売上高は462億54百万円（前年同期比0.1%減）、営業利益は9億14百万円（前年同期比44.6%減）、経常利益は8億62百万円（前年同期比47.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億25百万円（前年同期比62.6%減）となりました。

セグメントごとの業績は、以下のとおりです。

(ファッション事業)

AOKIでは、お客様のニーズ・ウォンツにお応えするため、タテ&ヨコの2WAYストレッチ機能で動きやすさを追求した「本当に洗えるスーツ」の商品量をメンズ・レディースともに拡大いたしました。また、カジュアルブランドの「CAFE SOHO(カフェ ソーホー)」は、30代から40代に向けてクールビズに対応したビジカジスタイルとして新たに提案いたしました。店舗面では、大きいサイズの専門店「Size MAX(サイズマックス)」の単独店2店舗を含む7店舗を新規出店した一方、営業効率改善のため5店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は575店舗（前期末573店舗）となりました。

ORIHICA(オリヒカ)は、新たな機能・素材・色柄を加えてリニューアルした「THE 3rd SUITS(サードスーツ)」を拡充するとともに、スーパーノンアイロンシャツ等の夏に最適な機能・素材を備えた「洗えるBIZスタイル」を強化いたしました。店舗面では、2店舗を新規出店した結果、当第1四半期末の店舗数は147店舗（前期末145店舗）となりました。

これらの結果、昨年AOKIで実施した大規模な改装セールの変動等により既存店が低調に推移し、売上高は271億69百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は1億57百万円（前年同期比71.9%減）となりました。

(アニヴェルセル・ブライダル事業)

ゲストハウスウェディングスタイルの挙式披露宴施設を展開しているアニヴェルセル株式会社は、各施設のコンセプトやブランドイメージを強みとした販促・PRを強化するとともに、引き続き新たな集客経路としてのプロポーズプラン等の強化を図りました。

これらの結果、売上高は69億2百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益は6億40百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

(カラオケルーム運営事業)

株式会社ヴァリックのカラオケルーム運営事業は、春・夏の期間限定メニューの提案を強化するとともに、人気キャラクターとのタイアップキャンペーンやコンセプトルーム拡充等10店舗のリニューアルを実施し、既存店の活性化に注力いたしました。店舗面では、2店舗を新規出店した一方、3店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は184店舗（前期末185店舗）となりました。

これらの結果、売上高は42億3百万円（前年同期比0.0%減）、営業損失は1億92百万円（前年同期は1億46百万円の営業損失）となりました。

(複合カフェ運営事業)

株式会社ヴァリックの複合カフェ運営事業は、女性専用エリアやシャワールームの導入など14店舗のリニューアルを実施するとともに、フードメニューを更に充実し、既存店の活性化を図りました。店舗面では、愛媛県への初出店を含む10店舗を新規出店した一方、1店舗を閉鎖した結果、当第1四半期末の店舗数は355店舗（前期末346店舗）となりました。

これらの結果、既存店が堅調に推移した一方、新規出店及びリニューアル費用の増加等により、売上高は79億83百万円（前年同期比12.5%増）、営業利益は89百万円（前年同期比77.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ16百万円増加し、2,346億97百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が短期借入れ等により31億87百万円増加した一方、売掛金が季節的要因等により43億64百万円減少したこと等により、前連結会計年度末と比べ6億77百万円減少いたしました。固定資産は、有形固定資産が新規出店等により9億56百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ6億93百万円増加いたしました。

(負債)

流動負債は、買掛金が仕入高の減少及び季節的要因により36億73百万円減少した一方、短期借入れを50億円実施したこと等により、前連結会計年度末と比べ13億10百万円増加いたしました。固定負債は、リース債務等のその他が4億75百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ5億95百万円増加いたしました。

(純資産)

純資産の部は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益及び剰余金の配当の結果15億93百万円減少し、自己株式が取得により3億88百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比べ18億89百万円減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績について、ファッション事業の既存店売上高が低調に推移したことで売上高はやや弱めに推移いたしました。営業利益は各社において経費削減に努めた結果、年間予想の進捗に対して予想どおり推移しており、平成29年5月11日に公表した業績予想を修正しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,608	31,795
売掛金	10,508	6,143
たな卸資産	26,905	25,468
その他	8,974	10,908
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	74,963	74,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	61,568	62,125
土地	36,953	36,953
その他（純額）	13,164	13,564
有形固定資産合計	111,686	112,642
無形固定資産		
投資その他の資産		
差入保証金	8,259	8,309
敷金	21,066	20,938
その他	12,444	12,406
貸倒引当金	△40	△40
投資その他の資産合計	41,730	41,614
固定資産合計	159,718	160,411
資産合計	234,681	234,697
負債の部		
流動負債		
買掛金	19,159	15,486
短期借入金	—	5,000
1年内返済予定の長期借入金	4,150	4,150
未払法人税等	1,603	321
賞与引当金	1,647	941
役員賞与引当金	89	29
その他	12,546	14,579
流動負債合計	39,197	40,507
固定負債		
長期借入金	37,125	37,125
役員退職慰労引当金	1,949	1,971
ポイント引当金	1,069	1,052
退職給付に係る負債	976	1,006
資産除去債務	5,513	5,598
その他	4,943	5,419
固定負債合計	51,577	52,172
負債合計	90,774	92,680

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,282	23,282
資本剰余金	27,833	27,833
利益剰余金	96,753	95,159
自己株式	△4,325	△4,713
株主資本合計	143,544	141,562
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576	642
退職給付に係る調整累計額	△302	△276
その他の包括利益累計額合計	274	366
新株予約権	87	87
純資産合計	143,906	142,016
負債純資産合計	234,681	234,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	46,314	46,254
売上原価	26,365	26,937
売上総利益	19,948	19,316
販売費及び一般管理費	18,298	18,402
営業利益	1,650	914
営業外収益		
受取利息	27	27
受取配当金	59	25
不動産賃貸料	152	141
その他	46	44
営業外収益合計	285	239
営業外費用		
支払利息	78	86
不動産賃貸費用	126	114
その他	101	90
営業外費用合計	307	291
経常利益	1,629	862
特別利益		
投資有価証券売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
減損損失	68	197
災害による損失	95	—
特別損失合計	164	197
税金等調整前四半期純利益	1,494	664
法人税、住民税及び事業税	357	298
法人税等調整額	266	40
法人税等合計	624	338
四半期純利益	870	325
親会社株主に帰属する四半期純利益	870	325

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	870	325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△309	66
退職給付に係る調整額	29	26
その他の包括利益合計	△280	92
四半期包括利益	590	418
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	590	418
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)

自己株式の取得

当社は、平成29年2月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式273千株の取得を行いました。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が388百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が4,713百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッショ ン事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,235	6,777	4,203	7,098	46,314	—	46,314
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	4	1	—	6	△6	—
計	28,236	6,781	4,205	7,098	46,321	△6	46,314
セグメント利益 又は損失(△)	560	657	△146	393	1,464	185	1,650

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額185百万円には、セグメント間取引消去1,090百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△905百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」セグメントにおいて、店舗の建替えが決定し回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては68百万円です。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ファッショ ン事業	アニヴェル セル・ブラ イダル事業	カラオケ ルーム 運営事業	複合カフェ 運営事業	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,168	6,899	4,202	7,983	46,254	—	46,254
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	2	0	—	4	△4	—
計	27,169	6,902	4,203	7,983	46,259	△4	46,254
セグメント利益 又は損失(△)	157	640	△192	89	695	218	914

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額218百万円には、セグメント間取引消去1,063百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△844百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社の管理部門等の費用です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ファッション事業」、「アニヴェルセル・ブライダル事業」、「カラオケルーム運営事業」及び「複合カフェ運営事業」の各セグメントにおいて、店舗の閉鎖や建替えが決定したこと等により回収が見込めなくなった営業店舗について減損損失を認識いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においてはそれぞれ87百万円、4百万円、99百万円及び6百万円です。